

設計方針 4 水とみどりを活かし、最先端の環境性能を持つ庁舎

■ ZEB Readyの実現

一次エネルギー消費量を50%以上削減するZEB Readyを達成し、ランニングコストを削減します。

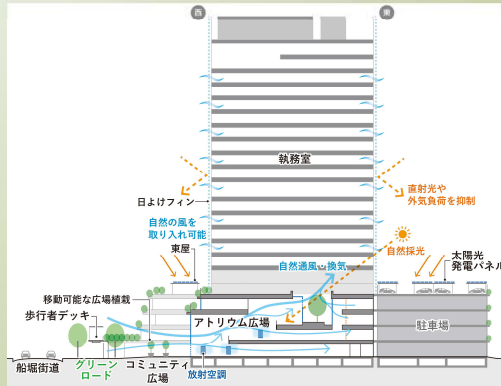
- ・ **自然換気** 高層階は通風サッシ、低層階はグリーンロードから3,4階の吹き抜けへ自然風が通り抜けます。
- ・ **外部負荷の抑制** 高断熱ガラスや方位に応じた庇・縦フィンを採用し、効率的に直射日光を抑制します。
- ・ **放射空調の採用** エネルギー使用の大部分を占める空調機器は空気の搬送エネルギーを抑えた設備を採用します。

■ 創エネルギーの活用

再生可能エネルギーを積極的に活用するため、窓面への太陽光パネルなどの導入を見据えて計画します。

■ CASBEE Sランクの達成

建築環境総合性能評価システム CASBEEでSランクの認証を取得し、環境配慮と快適性を両立します。

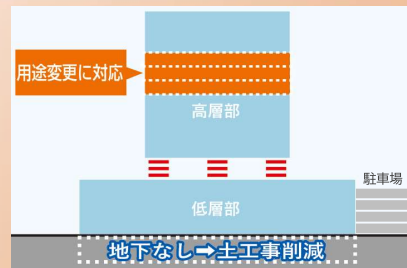


設計方針 5 社会の変化を見据え、可変性・経済性に優れた庁舎

■ **執務室階の標準化** 用途変更にも柔軟に対応できる可変性に優れたフロア計画とします。

■ **駐車場の別棟化** 地下階のない階構成とし、土工費や躯体工事費を削減しています。

■ **健全財政の維持** 建設業界における慢性的な人手不足、働き方改革の実施や建設資材の高騰等の影響により、概算工事費は令和5年12月時点で590億円と算出しました。その後も全国的な建設費の上昇が続いておりますが、コスト削減の取り組みとして、災害対応の拠点機能や行政機能等は維持しながら、建物に求める安全性の精査や仕様の合理化を図っていきます。



◆ 事業スケジュール

令和12年度の完成を目指し、令和6年7月から実施設計を進めています。

	R1,2年度 (2019~2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9~R12年度 (2027~2030)
新庁舎	基本構想 基本計画	基本設計方針		基本設計	実施設計			
再開発	準備組合 基本構想	事業協力 者選定	基本設計 方針	都市計画 手続	基本・実施設計		解体 工事	建設工事
					組合設立 手続	権利変換 手続		

江戸川区新庁舎基本設計（リーフレット版）

発行月 令和6年7月
編集・発行 江戸川区 新庁舎・施設整備部 建設技術課
住所 〒132-8501 江戸川区中央1丁目4番1号
連絡先 TEL: 03-5662-2605 (直通)
FAX: 03-5662-1310



新庁舎建設についての詳細な内容は区HPに公表しています。
左記二次元コードからアクセスしてご覧ください。
ご意見応募フォームよりご意見をお寄せ下さい。



江戸川区新庁舎基本設計がまとまりました

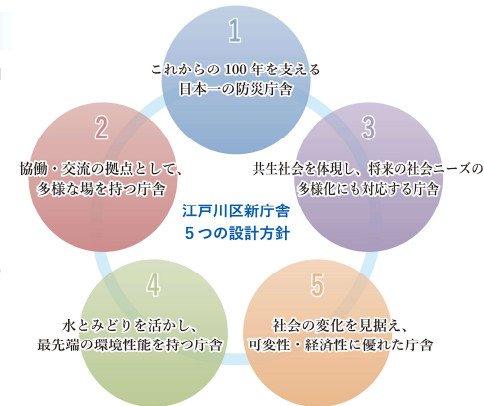
◆ 設計方針

新庁舎は、分散している窓口などを一元化し、行政サービスの水準向上を図るとともに、将来の「来庁しなくてもよい区役所」の実現と「ミニ区役所」整備の状況に合わせて、行政機能の中枢拠点として機能していくことが求められています。

また、地震、水害に対し強靱なものとし、長期間の自立運用を可能とする等、区民を守る災害対応の拠点としての機能も求められています。

さらに、再開発ビル、タワーホール船堀と歩行者デッキをつなげることで、平常時は利便性の向上に、水害時は避難動線の確保と、建物群の連携による防災力の向上も目指しています。

基本設計では、上記の求められる機能と、区民の皆様からのご意見を踏まえて策定した「江戸川区新庁舎基本設計方針」の内容を技術的に検証し、「5つの設計方針」に基づいて設計を行いました。



◆ 計画概要



完成イメージ ※今後変更の可能性があります



計画地	東京都江戸川区船堀四丁目3番
敷地面積	約9,600㎡
延床面積	約61,400㎡ (立体駐車場含む)
構造	鉄骨造 (免震層下部は鉄骨鉄筋コンクリート造)
階数・高さ	地上21階、約99m
駐車場	約210台
駐輪場	約600台

- ・**議会傍聴席** 車椅子席だけでなく、子連れの方などが利用できる個室席を整備します。